

那須の魅力をストーリーで語ろう アウトドアガイドに学ぶ“語り”の極意



NATANA
no.35

那須高校タイム

今年度の那須高等学校では、総合的な探究の時間において、1・2学年が合同で授業を行う新たな取り組みを行っています。今回はその一環として、「地域人講話」に栃木アウトドア事業振興会 BERGTOAD（バーグトード）代表の山崎和幸さんを招き、那須の魅力や、その魅力をどのように伝えていくかについて講話をいただきました。

山崎さんは、WEA（国際野外指導者資格）などの国際資格を有し、那須地域にとどまらず、全国各地で活躍されている経験豊富なアウトドアガイドです。

今回の講話の前半では「インタープリテーション」という手法を用いて、単に情報を伝えるのではなく、「ストーリーを通じて心を動かす」という手法の重要性を、生徒たちに丁寧に語りました。生徒たちはグループで那須の魅力を出し合い、カテゴリーごとに整理したうえで、それぞれのテーマに基づいたストーリーを考案するワークショップを体験しました。後半は、野外ガイドに必要なスキルを題材としたワークショップを実施しました。個人で思考を深め、グループでの話し合いを通し



て意見を共有し、まとめるというプロセスを経る中で、「命に関わる場面では意思疎通と合意形成がいかに重要か」という視点を学びました。また、グループワークでは、他者の意見を尊重しながら合意を形成することの難しさと、その重要性の両方を実感した生徒が多く、振り返りの中でも「話し合いのコツ」や「コミュニケーションの大切さ」「相手を尊重し理解すること」などについて多くのことを学びました。

那須高校の春の恒例行事である「歩行会」が実施されました。学年ごとに異なるコースが設定され、那須の自然を満喫しながら歩きました。3年生は、「那須高原りんどう湖ファミリー牧場」までのロングコース。仲間との絆を深めながら、思い出を刻む一日となりました。2年生は、赤沼公園から余笹川公園まで、余笹川沿いを北上するコース。1年生は、歴史ある芦野地区を巡るコースを歩き、入学から間もないクラスメイトとの親睦を深めました。

それぞれの学年がゴールを目指し、全員が無事に完歩。春のさわやかな陽気の中、各学年の団結力と那須の自然の魅力を改めて感じられる一日となりました。

（コーディネーター 佐藤達夫）

那須の自然を感じて歩く 恒例行事「歩行会」

栃木県立那須高等学校

那須町大字寺子乙3932-48 TEL / 0287(72)0075

tochigi-edu.ed.jp/nasu

「那須高校タイム」は生徒会の生徒と
高校魅力化コーディネーターが共に作るページです